



ゆかり通信

VOL. 293

令和 4 年 6 月

SENSHOJI

2022 YUKARI NEWSLETTER

since 1994

北海道千歳市清水町1-14 鶴竇山 千正寺

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

## 2022年千正寺カレンダー 6月の言葉



大雪山でカメラマン人気の珍鳥/ギンザノマシコ

お母さんが太陽だとしたら、  
お父さんはどこまでも広がる空です。

(産婦人科医 高尾美穂氏)

千正寺さんに勤めさせて頂いたのは、大学卒業してすぐの年でした。それから25年以上が過ぎ、結婚もして子ども3人の親とさせていただきました。

現在は月に一週間ほど法務員として千正寺さんに勤めさせていただき、普段は実家のお寺(後志の共和町)の住職を務めています。子育て真っ最中で、高校3年の長女、高1の長男、小学4年の次女と子ども中心の生活を送っています。現在のコロナ禍の生活で学校行事が変更や中止となることが多く、感染状況に右往左往しながらの日々が続いています。

2年前の3月、北海道の感染者が多く緊急事態宣言が発出され、学校が一月以上休みとなりました。妻も宣言が出されてからは1週間ほど自宅待機をしていましたが、その後は仕事に行くようになり、私と子ども達で時間を過ごすことになりました。始めはいろんな会話をして過ごしていましたが、その後はお互いに茶の間にも、上2人はスマホ、次女はテレビ、私はインターネットと会話の無い日々が続きました。その時作った川柳です。

「会話なく 家族の絆 wifi (ワイファイ) で」

今月のことばに「お母さんが太陽」とありますが、その通りで我が家は妻がいないと、めっきり静かになることを実感しました。「お父さんはどこまでも広がる空です」耳が痛い言葉です。お空のようにすべてを受け止める広い心を持ちたいですが、なかなか難しいことです。長女は小学・中学時代、バレーボールをしていました。私も中学でバレーボールをしていたこともあり、試合はもちろん練習にも参加し、娘以上に熱くなっていました。なので試合に負けた時や十分な結果を出せなかった時には、娘にかなり厳しい言葉を言いました。それで上手くなればよいのですがそうは行かず、思いが空回りした苦い経験があります。その結果かどうかはわかりませんが、娘は現在書道部部長です。

長男はこの春から野球部に入りました。以前の反省を生かし、空のように静かに見守りたいものです。

(文: 鹿谷賢純法務員)